

## 福祉サービス第三者評価結果（総括表）

### ① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ライフサポート樂樂

### ② 施設・事業所情報

名称：多機能型事業所 いちばん星	種別：生活介護	
代表者氏名：吉田	定員（利用人数）：30名	
所在地：〒306-0204 茨城県古河市大野鍛冶打 736-8		
TEL：0280-91-0150	ホームページ：www.fukushi-pastel.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成24年4月1日		
経営法人・設置法人（法人名など）：社会福祉法人パステル 代表者：理事長 石橋 須見江		
職員数	常勤職員：4名	非常勤職員：9名
専門職員	（社会福祉士）1名	（介護福祉士）5名
	（看護師）3名	（作業療法士）1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	（訓練・作業室） 6室	（トイレ）7室
	（相談室） 1室	（洗面設備） 5か所
	（更衣室） 1室	（機械浴） 1基
	（食堂） 1室	（脱衣所） 1室
	（浴室） 1室	（静養室） 1室
	（店舗） 1室	

### ③ 理念・基本方針

経営理念：ともに支え合う たしかな明日へ

基本方針：「社会・地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、その使命を果たすために、4つの基本方針に基づく経営を実践する。

- ① 利用者の安心・安全の提供と生きがいの持てる法人
- ② 地域と密着し、共に成長できる地域社会を目指す法人
- ③ 期待する職員像に基づき、働きがいのある職場の実現を目指す法人
- ③ トータルなマネジメントの実現を目指す法人

④施設・事業所の特徴的な取組

働きたい、仲間と一緒に楽しみたい、医療的ケアを受けながら安心して過ごしたいなど、利用者様の希望を基に、作業活動や創作活動、看護師、作業療法士による専門的支援など、ひとりひとりの希望に応じた活動づくりを行なっている。

施設旅行などの他、専門講師による造形活動、シンギング・リン、ミュージックケアなどアート活動や音楽活動も行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年 6月 5日（契約日）～ 令和8年1月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（今回初回）

## ⑥総評

当該法人は、多機能事業所、グループホーム相談支援センター等法人組織で三十数か所の事業所を有しており、事業所の役割、法人本部の役割等組織として統治・統制されている。従って評価項目の中では、個別事業所としての回答が出来ないところもあり、その点については法人本部での総合的なヒアリング等で補っていく必要がある。

### ◇特に評価の高い点

1. 利用者本位の運営姿勢が職員の中に浸透している。
2. 組織構成員の縦関係・横関係が円滑な事業運営環境である。管理者と職員間のコミュニケーションに溝はなく、職員への気配りがされている。
3. 職員行動規範、倫理規定、スローガン、「ニコリ・ホット運動」等事業所が目指すべき施設の方向性について明示され、実践されている。生活支援事業所としてのサービスの原点「一人一人の仕事づくり・役割づくり・居場所づくり」を意識した運営がされている。
4. 職員アンケート並びに職員ヒアリング(4名)を通して職員間つまり事業所内の風通しが円滑であり、相談しやすい環境であり、職員の就労に関する満足度は高い。
5. 看護職員3名で生活介護として重度心身障害者の利用を受け入れており、地域のニーズの掘り起こしをしている。また作業療法士の職員がいる事で専門性の指導もされている。
6. 永年のノウハウの蓄積から法人としての組織体制が確立している。

### ◇改善を求められる点

1. 大きな組織で機能分割して運営管理されているので事業所のオリジナリティを高める特徴ある施設への発展を望む。
2. 本部主催の職員研修や各種委員会・研究会等で職員のモラルやスキル等を図っているようだが、現場サイドの勉強会や報告会、OJTのマニュアル等の整備が求められる。
3. 各種報告・記録等中心にファイル整理がされているが、マニュアル・規定等は確認できなかった。
4. 単年度の事業計画について定量評価で具体的な計数管理できるような計画を提案する。また、事業計画の達成(成果)検証の仕組、モニタリング、中間検証合議等で常に事業計画を意識した事業運営、職員への事業計画の意識づけを保つようにされたら良いと思う。
5. 法人のBCPについて細部にわたりマニュアルとしてはよくできている。が日常職員が活用できるように、ダウンサイジングでの手帳的(簡易版)があると良い。
6. 研修制度については階層別、職種別にプログラミングされて本部主催での実践されている。事業所単位での研修会等はされていないようであり、むしろこれからは本部が出前で職員スキルアップや研修をしていくことも一考と思う。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

ひとりひとりのニーズを考えながら、専門職が協力、連携し合って支援を行なっていることが利用者様の高い満足度に繋がっていること、また職員の就労満足度に繋がっていることが評価され安心しました。改善点としてご指摘のあった福祉 BCP の簡易版については、現在、法人でハンドブックを作成したところであり、指摘された事項と、法人・事業所として課題と考えることが重なっていることがわかり、方向性が間違っていないと確信できました。

事業計画については、抽象的ではなく、定量評価で計数管理できるような計画にするとともに、中間検証も含め、成果をしっかりと検証する仕組みを作っていくことで、利用者様への質の高いサービスの提供と健全な事業所運営に繋がっていきたいと思います。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）